Emergency Assistance Japan

派遣留学生向け　　― メディカル支援 ＋ パーソナル支援 ―

海外危機管理サービス OSSMA（オスマ）

– Overseas Student Safety Management Assistance –

「OSSMA Plus」、「OSSMA」についてのご提案

Emergency
Assistance
Japan

― アシスタンスで
お客様の世界を広げる ―

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

EAJ　留学生危機管理サービス　OSSMA Plus　OSSMA

会社紹介

EAJの会社概要

私たちは、医療アシスタンスを中核に、セキュリティなど多岐に渡るアシスタンスサービスを海外や日本国内で提供しています。

EAJの会社概要

社名:	日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
設立:	2003年1月16日
本社所在地:	〒112-0002 東京都文京区小石川1丁目21番14号 NRK小石川ビル
TEL:	03-3811-8121
FAX:	03-3811-8159
URL:	http://emergency.co.jp/
従業員数:	287名（海外子会社含む）（2024年1月1日現在）
資本金:	312百万円
上場市場:	東京証券取引所スタンダード（証券コード6063）
取得資格:	医療滞在ビザ身元保証機関　登録管理番号　B-001 プライバシーマーク認証　登録番号　第10862174(01)号 東京都知事登録旅行業　第3-5955号 医療渡航支援企業　認証番号 MEJ-AMTAC-002
加入協会:	一般社団法人 国際メディカル・コーディネート事業者協会 一般社団法人 日本在外企業協会（正会員） 一般社団法人 日本旅行業協会（協力会員）

EAJの事業領域

- **留学生向けサービス**

  危機管理・医療アシスタンス　OSSMA Plus　OSSMA

- **その他の提供サービス**

  一般法人向け海外医療アシスタンスサービス

  インバウンド医療アシスタンスサービス

  セキュリティアシスタンスプログラム

  救命救急士・看護師 派遣サービス

  医療ツーリズム コーディネートサービス

  海外旅行保険付帯 医療アシスタンスサービス

  入国者健康管理サービス

  旅行コンシェルジュサービス

会社紹介

EAJのご紹介

ケガや病気で大変な時だからこそ、日本人対応による思いやりと丁寧さに溢れたサービスがお客様の大きな安心につながると、私たちは信じています。

- 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社（EAJ）は、世界中のどこでも安全や医療に関する諸問題の解決を手助け（アシスタンス）する日本発のアシスタンス会社です。
- 日本企業・官公庁・団体および大学がグローバル展開する中で生じる、海外での安全や医療に関するアシスタンスに長年の経験と多くの実績があります。
- 『ジャパン・スタンダード・アシスタンス』－日本人による、日本人のための、日本人の視点に立ったプロフェッショナルできめ細やかなサービスを展開します。

EAJのミッション：　～アシスタンスでお客様の世界を広げる～

Heart
日本人の美徳のひとつである
思いやりの心をいかなる時も忘れない

Skill
お客様により良いサービスを提供するため、
知識と経験を深める

Communication
お気持ちを察し、言葉には聞こえてこない
声を受け止める

Emergency
Assistance
Japan

会社紹介

EAJの実績ー海外医療アシスタンス

Emergency Assistance Japan

豊富な実績に裏付けされた、確実な医療アシスタンスを提供します。

取引先実績（2024年1月現在）

- 官公庁/企業法人団体
  1200 件
- 教育機関
  130 校
- 損害保険会社
  9 社

年間の個別実績

- 年間コール数
  200,000 件
- 年間取扱医療案件
  120,000 件
- 年間取扱海外移送案件
  200 件

近年の大型事件実績

2020～/令和2年～
全世界での新型コロナウィルス感染症
- 20か国、約160名のCOVID-19陽性者へのアシスタンスを提供（医療・重症帰国搬送・火葬・遺骨送還）

2016/平成28年
ベルギー・ブリュッセル地下鉄テロ事件
- 邦人重症者1名の帰国医療搬送

2015/平成27年
チュニジア国立博物館襲撃テロ事件
- 邦人重症者1名の帰国医療搬送および邦人死亡者5名の遺体送還

2013/平成25年
アルジェリア外国人人質テロ事件
- 邦人死亡者10名・外国人6名の遺体送還、外国人重症者4名の帰国移送

会社紹介

EAJのグローバルなサービス体制

世界の全7拠点が連携し、24時間 / 365日、日本語で対応し、統一されたコール/ケースマネジメントシステムを利用し、1つのコールセンターの様に事業継続性の高い体制で運用されています。

EAJのコールセンターの特長

- **日本人中心のオペレーション**
  - 全7拠点で24時間/365日のサービスを提供※1
  - 153名（海外86名）※2
  - 訓練を受けた日本人スペシャリストを配置
  - 電話の初期受付は**全て日本語対応**
    （英語と中国語も対応可）

- **均質なサービスと強固なバックアップ体制**
  - 全7拠点で均質なサービスを提供
  - バックアップ体制によるサービスの保全
    - ✓ センター間の内線システム
    - ✓ 特定地域での混乱等に対する備え
    - ✓ 海外拠点への入電を本社でも受付可能

- **単一ケースマネジメント体制**
  - 各ケースごとのアシスタンス・マネジメント
  - 独自開発のマネジメントシステムを活用
  - 拠点間で統一されたシステムで迅速な情報共有
  - 最新の強化されたセキュリティ
    - ✓ サーバーのクラウド化
    - ✓ データの多重化　等々

※1: 東京センターと中国センターが他の拠点のサービス時間外をカバー
※2,3: 2024年1月末時点
※4: 朝鮮民主主義人民共和国を除く

EAJの直営拠点/コールセンター にて 全世界対応 ※4

全世界 提携医療機関（17,316件）提携プロバイダー（3,298件）チャーター機（40社）のネットワーク

EAJのケースマネジメントシステム：NEO

- のべ400万件以上のケース・データ※3
- お問い合わせから解決までの履歴情報
- 査定請求等決済情報
- 各センター間で統合されたシステムネットワークで、オンタイムでケース進捗を共有可能

サービス紹介

EAJのアシスタンスネットワーク

弊社はグローバルに医療アシスタンスの提供が可能なネットワーク体制を構築しています。
また現地で連携する機関、プロバイダーを起用し、より広範で多岐にわたるサポートを提供します。

EAJの 拠点、提携医療機関 および 提携プロバイダー、チャーター機のネットワーク ※1

チャーター機の広範なネットワークを活用し、幅広い選択肢の中から最適の手段をご提示します。
また商用便も組み合わせることで、身体的経済的負担を軽減した移送が可能です。

※1: 2024年1月時点

契約実績 研修資料 取扱厳秘

Emergency Assistance Japan

2024.3.31

グローバルに展開している多くの学校・官公庁・企業との取引実績があり、日本人以外の学生・従業員もアシスタンスしています。

国立大学
東京大学・お茶の水女子大学・東京外国語大学・東京医科歯科大学・東京藝術大学・横浜国立大学・電気通信大学
北海道大学・東北大学・筑波大学・一橋大学・秋田大学・岩手大学・茨城大学・埼玉大学・千葉大学・山梨大学・静岡大学
京都大学・大阪大学・神戸大学・大阪教育大学・富山大学・室蘭工業大学・弘前大学・和歌山大学・香川大学・高知大学・山口大学
九州大学・熊本大学・長崎大学・鹿屋体育大学・琉球大学・浜松医科大学・国立看護大学校・長岡技術科学大学

公立大学
国際教養大学・岩手県立大学・山梨県立大学・京都市立芸術大学・青森公立大学・長崎県立大学・福井県立大学・札幌医科大学
長野県立大学・熊本県立大学・名桜大学・長岡造形大学・都留文科大学・静岡文化芸術大学・新潟県立看護大学・札幌市立大学
秋田公立美術大学

私立大学
上智大学・立教大学・学習院大学・芝浦工業大学・文教大学・亜細亜大学・茨城キリスト教大学・仙台白百合女子大学
津田塾大学・学習院女子大学・東洋英和女学院大学・昭和女子大学・実践女子大学・多摩美術大学・東京国際大学・関東学院大学
同志社大学・立命館大学・甲南大学・南山大学・兵庫大学・関西外国語大学・同志社女子大学・甲南女子大学・神戸海星女子学院大学
関西学院大学・神戸女学院大学・京都薬科大学・京都精華大学・園田学園・金沢工業大学・広島修道大学・吉備国際大学
立命館アジア太平洋大学・西九州大学・尚絅大学・沖縄大学・愛知学院大学・鶴見大学・清泉女学院大学・新潟国際情報大学・白鷗大学
広島工業大学・札幌大学・札幌学院大学・目白大学・大東文化大学・聖路加国際大学・天理大学・東北芸術工科大学・京都芸術大学
名古屋外国語大学・名古屋学芸大学・拓殖大学

国立高専・高校 中学校・小学校
学習院中高等科・学習院女子中高等科・啓明学園・甲南高校 中学校・同志社小学校　富山高専・岐阜高専・福井高専・明石高専
函館高専・苫小牧高専・仙台高専・鶴岡高専・一関高専・小山高専・茨城高専・木更津高専・群馬高専・長野高専・石川高専・舞鶴高専
鹿児島高専・大分高専・有明高専・北九州高専・久留米高専・佐世保高専・熊本高専・都城高専・沖縄高専

官公庁等
内閣府・JICA（国際協力機構/外務省）・JAXA（宇宙航空研究開発機構/文科省）・国際交流サービス協会（外務省）
JOGMEC（石油天然ガス・金属鉱物資源機構/経産省）・JAMSTEC（海洋研究開発機構/ 文科省）・MEJ（経産省）
日本政策金融公庫（財務省）・海外漁業協力財団（農水省）・森林研究・整備機構（農水省）・中小企業基盤整備機構（経産省） 他

法人取引先 約1200社
日立製作所・日立製作所グループ各社・東京電力・大阪ガス・パナソニック・シャープ・キッコーマン・山崎製パン・キユーピー・日本毛織
三井物産・伊藤忠商事・三菱商事・住友商事・丸紅・双日・豊田通商・ アヲハタ・日本水産・ニチレイ・京浜急行電鉄・東京メトロ・森永乳業
ブリヂストン・本田技研工業・ダイハツ工業・スズキ・東洋ゴム・住友ゴム・バンドー化学・田中貴金属・不二精油・スターツ・ゼンショーHD
YKK・メルコホールディングス・オリエンタルモーター・日本合成化学・三洋化成工業・DOWAホールディングス・大洋エーアンドエフ・タカラトミー
ロート製薬・矢崎総業・アズビル・東プレ・フォスター電機・公文教育研究会・ベネッセコーポレーション・第一生命・明治安田生命・帝人
ミニストップ・ファミリーマート・オリエンタルモーター・セシール・アイリスオーヤマ・ユアサ商事・三井造船・日立造船・住友不動産
日揮・日揮グループ各社・千代田化工建設・大林組・竹中工務店・五洋建設・北野建設・巴工業・アシックス・楽天グループ・オリックス
ゆうちょ銀行・三井住友銀行・神戸製鋼・岡谷鋼機・KISCO・川崎汽船・商船三井・オリンパス ・参天製薬・JINS・Cygames 他

※社名太字は外資系アシスタンス会社からの契約切替えを示す。

保険会社
（海外旅行傷害保険顧客へのアシスタンス）
損保ジャパン・あいおいニッセイ同和損害保険・ジェイアイ傷害火災保険・エイチ・エス損保・セゾン自動車火災保険・エース損保
チューリッヒ保険 他

旅行会社
地球の歩き方・日本旅行・トッパントラベル・トップツアー

米国大手カード会社

「危機管理会社選定 6つのポイント」

Emergency Assistance Japan

1. 再委託、再々委託で構成されたサービスなのではないか？
2. 契約当事者である危機管理会社が、海外拠点を持っているか？
3. BCPの観点から、コールセンターはリスク分散で数か所に設置しているか？（首都直下、南海トラフ、東海地震などを想定しているか）
4. 大学のみならず グローバル企業 や 官公庁 との契約はあるか？
5. 誰にでも利用できる「安否確認 」や「ヘルプライン」のシステムはあるか？
6. 「保険不適用」の場合であっても、費用負担があれば最後までアシスタンスが継続されるのか？

弊社と他社の差異「危機管理会社選定 6つのポイント」

Emergency Assistance Japan

1. 再委託、再々委託で構成されたサービスなのではないか？

弊社は、受付から手配まで一貫してイニシアチブを取り対応を行います。そのため、スムースかつ確実に現地手配・アシスタンスを行えます。
他社の仕組みは委託・再委託を繰り返します。このため伝達の齟齬・現地への連絡途絶・誤手配等が発生する可能性があります。
危機管理の委託契約では、トラブル発生時に責任の所在が明確でなければなりません。
外務省等中央省庁及びJICA、JAXA等政府関連団体は、再委託禁止が入札参加の条件やコンペィティション参加の条件となっています。
危機が生じた際に、責任の押し付け合いや責任の所在が不明になることを、中央省庁や政府関連団体はリスクと認識しているからです。

2. 契約当事者である危機管理会社が、海外拠点を持っているか？

弊社は、大災害時・大事故時等、現地入りが必要となる場合に、直接社員を近隣拠点より派遣します。
現地での情報収集、現地入りする保護者様・教職員様等のロジスティクス、現地の医療機関・公的機関、在外公館等との折衝、
現地のメディア対応支援等を行います。弊社はこれまで企業・学生様対応において様々なケースで現地入りした経験を有しております。

3. BCPの観点から、コールセンターはリスク分散で数か所に設置しているか？（首都直下、南海トラフ、東海地震などを想定しているか）

弊社は、首都直下地震発生等も考慮し、大災害時の事業継続（BCP）のために、海外に拠点およびコールセンターを配置しています。
これにより医療アシスタンス・危機管理サービスを継続して提供することが可能です。

4. 大学のみならず グローバル企業 や 官公庁 との契約はあるか？

弊社の顧客はグローバルに展開する企業・官公庁・大学等であり、これまでテロ事件を含む幾多ものケースで直接現地対応を行っており、実際の経験・知見がオリエンテーションにも反映されています。また現地がセンシティブな状況下にある時に、弊社拠点、提携セキュリティ会社、
現地プロバイダーの情報以外に契約企業等の現地の動向もお伝えすることが可能な点も、企業・官公庁との契約がない他社とは異なります。

5. 誰にでも利用できる「安否確認」や「ヘルプライン」のシステムはあるか？

弊社の安否確認は、弊社が管理者となり、大災害時、事故・事件時の臨時の安否確認と定期の安否確認を実施します。安否確認は、大学から発信することも可能です。アプリ利用では、安否応答の際の位置情報が発信されます。また、安否確認への応答状況をいつでも管理者用画面から確認することができます。**OSSMAヘルプラインは、日常相談から緊急時相談まで24時間365日、フリーダイヤルでご利用頂けます。**
アプリ利用では滞在地の国名をタップすることにより番号検索と発信が可能です。ヘルプラインは保護者様、大学教職員様もご利用頂けます。

6.「保険不適用」の場合であっても、費用負担があれば最後までアシスタンスが継続されるのか？

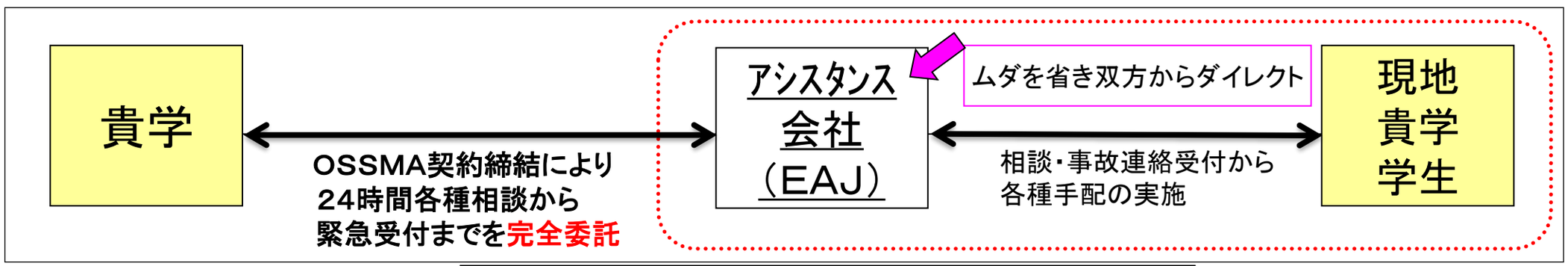
弊社は、海外旅行保険が不適用のケースや保険金額が超過した場合でも、アシスタンスの継続が可能です。
保険会社および他社は、保険不適用の場合はサービスの提供がない、また保険金額を超過した場合などは中途でサポートが終了します。
弊社は独自のネットワークがあるため、保険不適用、保険金額超過時でも実費・手配料をご負担頂くことで、アシスタンスの継続が可能です。

日本エマージェンシーアシスタンス（EAJ社）と他社との比較
メディカル等緊急時の対応体制

緊急時対応体制は、以下のとおりとなります。

◆EAJ社OSSMAの仕組み

【EAJ社は事故受付から各種手配までを完全一貫して行います】

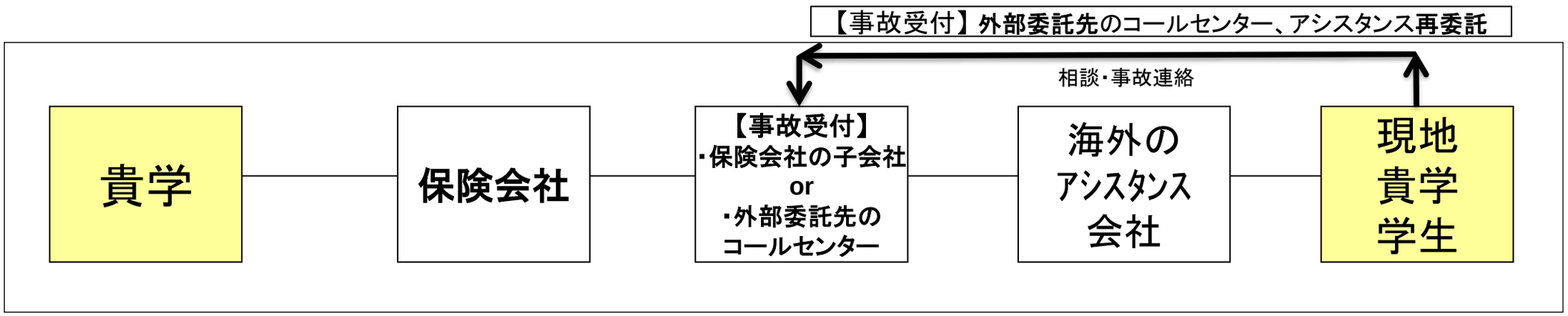


・学生、保護者、派遣先学校等、誰からのアクセスでもOK
・しかも保険が支払われないケースでも対応

※ 海外拠点 コールセンター設置個所数　EAJ社 ：首都直下型地震発生時の事業継続性（BCP）も考慮し、東京を含め世界に7か所。
他社 ：日本国内 1か所に設置。

◆他のアシスタンス会社の保険会社を活用する仕組み

（官公庁では、リスク管理にならないとして認められない仕組み）



派遣

— OSSMA：Overseas Student Safety Management Assistance —

大学の海外派遣におけるリスクマネジメントについて

チェックポイント	大学	派遣留学生	当社 OSSMA
派遣留学生への安全配慮義務遂行のために	・渡航先の危険情報提供 ・安否確認体制構築 ・海外派遣危機管理マニュアルのチェック・整備 ・渡航前オリエンテーション ・教職員危機管理の勉強会実施 ・シミュレーション訓練		◎ ◎ ◎（注1） ◎ ◎（注2） ◎（注3）
派遣留学生の安心・安全ルール順守		・渡航前オリエンテーションの参加義務化 ・安否確認ルールの順守 ・海外旅行保険加入義務化とクレジットカード・トラベルプリペイドカードへの加入促進	◎ ◎ ◎
渡航中の安全配慮	・学生・保護者用 日本語での24時間相談デスク整備（日本人医師による健康・医療・メンタル相談 、病院受診・治療の際の現地医師・学生との間の電話による医療通訳を含む）		◎
緊急時の体制整備	・緊急時安否確認の仕組み ・現地情報収集ルート確保 ・重大事故・事件、学内対策本部設置 ・マスコミ対処方法 ・所管官庁などへの報告 ・学校関係者の現地への渡航準備 ・日本及び現地での保護者対応		◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎
		・緊急時安否確認ルールの順守 ・本人および関係者からの24時間支援要請ルートの確保（保険会社では対応しないケースにも対応可能な体制整備） ・現地での本人・保護者直接支援可能な体制整備	◎ ◎ ◎

対策本部設置やマスコミ対応などでは助言・支援を実施。
専門家派遣などの場合は、別途費用がかかります。

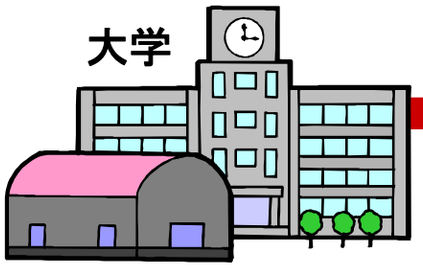
当社は、重大事案では現地に職員を直接派遣して対応しております。

（注1）（注2）（注3）は有料です。

OSSMAサービス概要図

OSSMA Plus と OSSMA のサービスについて ～海外旅行保険との違い～

OSSMA Plus、OSSMA の 海外危機管理サービスは、海外旅行保険では提供されないアシスタンスも行い、保険適用外を含めたケースにも対応 しています。学生様のみにご利用頂ける OSSMA Plus は1億円の治療・救援費用の補償が自動的に組み込まれているサービスで、渡航期間を通して既往症の応急治療や歯科疾病の応急治療 に対応しています。
基本サービス OSSMA には、治療・救援費用の補償は含まれていないため、海外旅行保険に必ずご加入頂きます。



EAJ（OSSMAヘルプライン）
24時間365日 日本語・英語対応のコールセンター

オリエンテーション
オリエンテーション 実施
海外危機管理情報提供
危機発生時の対応支援※
（対策本部支援・マスコミ対応）
危機管理マニュアル作成※
シミュレーション訓練※

日常相談およびメンタル相談対応

安否確認（定期・臨時）
アプリ・メール利用
Googleマップ連動
位置情報確認

病院手配 搬送手配

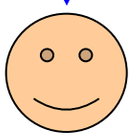
現地対応にあたるスタッフを現地派遣
（大災害・大事故・大事件時等）
補償適用外の場合は別途料金※

搬送手配
日本人医師、
日本人看護師の派遣
ご遺体の処置

派遣留学生
派遣前

派遣留学生
滞在中

事故 病気等



派遣留学生
日本への搬送

帰国後の受入れ病院手配

渡航宿泊手配

保護者

現地対応支援
大使館連絡代行
通訳手配

渡航宿泊手配

大学担当者

現地対応支援
関係機関連絡代行（警察等）
通訳手配

赤文字： 保険付帯のアシスタンスでは受けられないサービス
（※は別途料金が発生します）

青文字： 保険付帯のアシスタンスでも受けられるサービス
日常相談は、一部対応可能。（パスポート紛失等）

※ 治療費、救援に係る渡航費等の実費や手配料は、
OSSMA Plus会員は OSSMA Plus が負担します。
OSSMA会員は保険等で お支払い頂きます。
いずれも保険適用外となるケースは実費や手配料の
ご負担を頂きアシスタンスを行います。

海外旅行保険：保険適用外になる場合

1. 保険に加入していても保険金が支払われず、アシスタンスが受けられないケースがあります。
2. **保険適用外の状況下**でも、OSSMA Plus、OSSMA は**日本エマージェンシーアシスタンス独自の海外の提携医療機関**および**プロバイダーのネットワーク**で**アシスタンスを継続する**ことが可能です。

- 世界**7カ国**に**拠点・日本語コールセンター**を**設置**（日本、アメリカ、カナダ、イギリス、シンガポール、タイ、中国）
- 世界**17,316**の**医療機関** と **3,298**の**プロバイダー**（エージェント）と**提携**
- **緊急医療**および**航空医療搬送の専門医**が**対応**　日本人医師80名、看護師・救急救命士62名と提携
- 世界**40社**と**145機**の**専用航空機ネットワーク**を**構築**　緊急医療搬送が必要になった場合でも即時に対応が可能

保険適用外となる主な例

- **現地での法令違反（麻薬使用や無免許運転）による怪我や疾病**
- **ケンカが原因による怪我**
- **日本出発前から治療を開始している症状（＝既往症）**
- **自殺未遂による怪我や疾病・・・メンタル不調などによるものが多い**
- **戦争、変乱（除くテロ）などによる死亡、怪我**
- **グレーゾーンと保険会社が判断した場合**
- 虫歯などの歯科疾病（歯科疾病特約付保がない場合）
- 携行品を盗難ではなく紛失した場合
- 現金、コンタクトレンズ

➡ OSSMA Plus会員は渡航期間中、既往疾病を直接の原因として急激に悪化した症状について応急治療補償あり（持病・既往症）

➡ OSSMA Plus会員は渡航期間中、応急処置補償あり（歯科疾病）

海外旅行保険 と ＯＳＳＭＡ Ｐｌｕｓ
治療・救援者費用補償における比較

	海外旅行保険	ＯＳＳＭＡ Ｐｌｕｓ
お支払い対象		
①不慮のケガ、疾病による治療費用、入院費用、医療通訳費	海外旅行保険による実費負担 限度額　加入保険により異なる	ＯＳＳＭＡ Ｐｌｕｓによる実費負担 限度額　１億円
②不慮のケガ、疾病による救援者費用	救援者は延べ３名まで 救援者にＥＡＪスタッフを 一切含まない	救援者は延べ**5名**まで うち、ＥＡＪスタッフ最大2名を 救援者として認める
③持病・既往症再発による応急処置費用	特約加入にて１か月以内渡航者のみ対象	自動的に**全期間**の渡航者対象
④歯科治療費用	歯科治療特約加入者のみ対象で 自己負担があり、負担の割合は、 治療費用の20%または50%	**全加入者対象**で、応急処置費用は ＯＳＳＭＡ Ｐｌｕｓによる実費負担
⑤航空機、船舶の遭難による捜索費用	海外旅行保険による実費負担	ＯＳＳＭＡ Ｐｌｕｓによる実費負担
⑥山、海での研究、レジャー中の遭難による捜索費用	急激かつ偶然の外来事故以外は 大学または家族による全額負担	ＯＳＳＭＡ Ｐｌｕｓによる実費負担 限度額　２００万円
⑦死亡による遺体処理費用、搬送費用	遺体処理費用は、 海外旅行保険による実費負担 限度額　１００万円	遺体処理費用は、 ＯＳＳＭＡ Ｐｌｕｓによる実費負担 限度額　200万円 ⑦全体限度額　４００万円
⑧長期治療になる場合の治療状況把握・報告費用	家族による全額負担	ＯＳＳＭＡ Ｐｌｕｓによる負担

OSSMA と OSSMA Plus

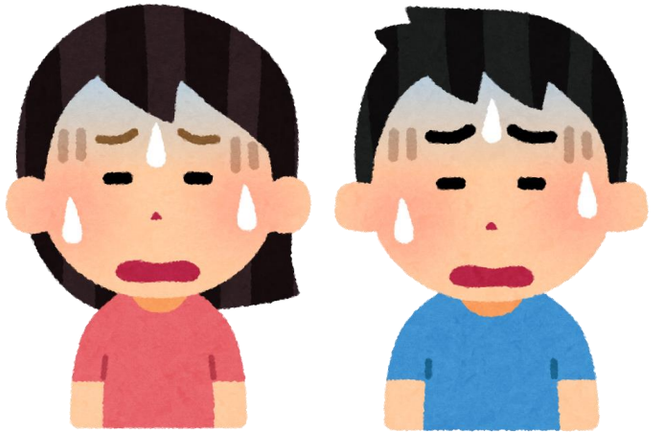
OSSMA / OSSMA Plus は、メディカル支援と パーソナル支援を含む海外危機管理サービスです。

OSSMA と OSSMA Plus は メディカル支援 に違いがあります

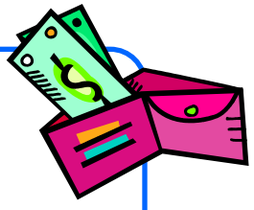
メディカル支援
＊OSSMAヘルプラインにご連絡ください

パーソナル支援
＊海外旅行保険では、対応されません

体調が悪いので病院に行きたい



財布を盗まれた



パスポートをなくした!

OSSMAヘルプライン

電話を通じたサービスで24時間365日、**会員学生**だけでなく、
会員の保護者や**学校ご担当者**もご利用可能です。

ヘルプライン相談内容

医療に係る支援も、日常生活でのご相談も。
会員保護者や学校ご担当者もご利用可能です。
トラブル・・・まずはOSSMAヘルプラインへご相談下さい。

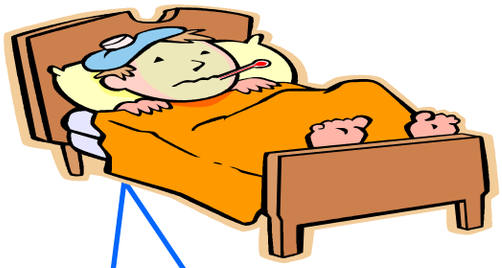
娘と5日以上連絡がついていない。
無事でいるか調べてほしい。

バスに乗っている間に
パスポートの入った
荷物を盗まれた。

息子から至急現金
を送金して欲しい
との電話。
最速で送金できる
手段と受取方法を
教えて欲しい。

電話上で日本の看護師
へ医療相談を希望

日本から荷物を娘に送ったが届かない！
業者に聞いても、あいまいな返事。
調べることはできないか？



ホテルのシャワーを、
壊した。支配人から
修理代金を払うように
言われているが、
持ち合わせのお金もな
く、困っています。

体調が悪いので
病院に行きたい

OSSMAが介入できない事例
ホームステイ・寮の手配・変更/
ビザ・出入国に関連する書類/
授業に関するトラブルなど

OSSMAヘルプラインの検索と発信 フリーダイヤル

滞在先からOSSMAヘルプラインに電話をする場合、アプリであれば容易に滞在先からの番号を検索し、発信することができます。

電話のアイコンをタップ

発信国(滞在国)を探す

発信国(滞在国)を選択

タップして通話

OSSMAアプリ：安否確認と現在地の報告

Emergency Assistance Japan

管理者（EAJ・学校）より
プッシュ通知が届いたら
「OK」をタップ。

報告画面が表示されたら
「今ここ！」をタップして
安否応答。

応答時に位置情報が 管理者ページ、
会員アプリに 登録されます。

OSSMA と OSSMA Plus の違い

海外渡航中における治療・入院にかかる主な費用	
治療費用	医療通訳費用
入院諸雑費	救援者費用
持病・既往症の応急治療費用	歯科応急治療費用
緊急医療搬送費用	遺体処理費用、搬送費用

通常、これらの費用は海外旅行保険に加入しないと補償されません。

OSSMA に加入した場合、海外旅行保険に別途加入する必要があります。

OSSMA Plus に加入した場合、上記費用が1億円まで補償されます。

OSSMA Plus は、OSSMA に治療・救援費用の補償が *Plus* されたサービスです。

OSSMA と OSSMA Plus

OSSMA Plus に加入すれば海外旅行保険に加入しなくても大丈夫？

治療・救援費用以外の補償（主なもの）

傷害死亡・後遺障害	疾病死亡
個人賠償責任	携行品損害
航空機寄託手荷物遅延	航空機遅延費用

上記は OSSMA Plus では補償されません。そのため OSSMA Plus で補償される治療・救援費用に加え、上記補償を上乗せすることを目的として専用の海外旅行保険をご用意しました。それが「上乗せ海外旅行保険」です。

OSSMA と 海外旅行保険

OSSMA	海外旅行保険
費用補償なし	治療･救援費用
	傷害死亡･後遺障害
	疾病死亡
	個人賠償責任
	携行品損害
	航空機寄託手荷物遅延
	航空機遅延費用
海外危機管理サービス（OSSMA）には海外旅行保険のような費用補償はありません	**海外旅行保険によって各種費用が補償されます**

OSSMA のメディカル支援では病院の紹介、予約、通訳の手配は行いますが、各種費用が発生した場合は治療費等も含めて海外旅行保険で賄われます。そのため、OSSMA に加入した場合は、海外旅行保険に別途加入する必要があります。

OSSMA Plus と 上乗せ海外旅行保険

OSSMA Plus	上乗せ海外旅行保険
治療・救援費用 （1億円まで補償） 治療費用/医療通訳/持病・既往症の応急治療費用 歯科応急治療費用/入院諸雑費/救援者費用 緊急医療搬送費用/遺体処理費用・搬送費用	傷害死亡・後遺障害（最高1千万円）
	疾病死亡（最高1千万円）
	個人賠償責任（1億円）
	携行品損害（10万円）
	航空機寄託手荷物遅延（10万円）
	航空機遅延費用（2万円）
海外危機管理サービス（OSSMA Plus）で 治療・救援費用を補償します	上乗せ海外旅行保険で 治療・救援費用以外を補償します

OSSMA Plus と 上乗せ海外旅行保険 の組み合わせで備えは万全！

「OSSMA Plus」と「上乗せ海外旅行保険」の組み合わせで加入すれば、通常の海外旅行保険に入る必要はありません。

OSSMA 料金表

学校様のご負担分

下記料金には別途消費税が発生します

1. 入会金（初年度のみ）	80,000円
2. 年間基本料金	100,000円
3. 危機管理オリエンテーション	年1回までは基本料金に含む※ 録画をして後から自由にご覧頂くことも可 2回目以降ご希望は20,000円/回※ 同オリエンテーション内容の動画配信 基本料金に含み、学生様何名様でも、何回でも視聴可 ※学校訪問の際の交通費は別途請求

※ 年度途中ご加入で、その年の年度予算で区切るご契約をご希望の際は、初年度の年間基本料金については８，４００円（消費税別）に加入月数を乗じた金額となります。

（例）入会時が令和6年7月の場合の年間基本料金（令和6年7月～令和7年3月）
８，４００円 × 9カ月分 75,6 00円（消費税別）

渡航教職員様のご負担分～海外旅行保険をご利用する場合～

OSSMA会費（税込み） （期間に応じて右記のとおり）	1カ月	3,630円	5カ月	20,570円
	2カ月	6,050円	6カ月	24,200円
	3カ月	12,100円	7～9カ月	29,040円
	4カ月	16,335円	10～12カ月	32,670円

※ 学生様もOSSMA のサービスの対象とすることもできますので、OSSMA Plus をご利用しない場合にはご相談ください。

※ OSSMA は事前会費制の危機管理支援サービスであり、保険ではありません。本サービス加入と合わせ、必ず海外旅行保険への加入が必要です。

OSSMA Plus 料金表

Emergency Assistance Japan

※ OSSMA Plus にご加入頂けるのは 学生様のみとなります。
教職員様は OSSMA と 海外旅行保険 をご利用を頂く形となります。

※ 他に B,Cプランあり

学生様のご負担分

渡航期間	OSSMA Plus 会費（円） 治療・救援費用および「渡航期間中」の「持病・歯科」の応急治療費用も含む。 通算して上限1億円まで各種費用をお支払い	OSSMA Plus会員専用上乗せ海旅 A ※（円） 傷害死亡・後遺障害・疾病死亡 100万円 個人賠償責任 1億円　携行品損害10万円 航空機寄託手荷物遅延 10万円 航空機遅延 2万円	OSSMA Plus 会費と OSSMA Plus会員専用上乗せ海旅 の 総合計（円）
15日以内	6,450	1,710	8,160
1か月以内	9,250	2,520	11,770
2か月以内	16,470	3,490	19,960
3か月以内	26,640	4,170	30,810
4か月以内	37,635	5,040	42,675
5か月以内	48,520	5,890	54,410
6か月以内	58,140	6,710	64,850
7か月以内	68,570	7,540	76,110
8か月以内	74,160	8,380	82,540
9か月以内	79,780	9,230	89,010
10か月以内	88,990	10,070	99,060
11か月以内	94,580	10,930	105,510
12か月以内	100,170	11,810	111,980

学生様のご負担分 総合計
海外危機管理と各補償含む

ご参考【上記 OSSMA Plus 会費 の内訳】

渡航期間	OSSMA Plus 会費（円） ＝ ① ＋ ②	① OSSMAサービス（海外危機管理）の対価である会費単価（円）税込	② 経済的支援サービス（治療・救援費用1億円補償）の対価である会費単価（円）非課税
15日以内	6,450	3,630	2,820
1か月以内	9,250	3,630	5,620
2か月以内	16,470	6,050	10,420
3か月以内	26,640	12,100	14,540
4か月以内	37,635	16,335	21,300
5か月以内	48,520	20,570	27,950
6か月以内	58,140	24,200	33,940
7か月以内	68,570	29,040	39,530
8か月以内	74,160	29,040	45,120
9か月以内	79,780	29,040	50,740
10か月以内	88,990	32,670	56,320
11か月以内	94,580	32,670	61,910
12か月以内	100,170	32,670	67,500

【免責事項】

当社は、本資料における情報掲載には細心の注意を払っておりますが、全ての情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。本資料上の全ての内容に関して、誤りがあった場合や、その他いかなる場合においても一切の責任を負いかねます。また、本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

当社は、理由の如何に関わらず、本資料に掲載された情報等の利用、使用もしくは情報の変更によって生じるいかなる損害につきましても責任を負うものではありません。

本資料に掲載された全ての情報は、当社が所有しており、著作権によって保護されております。本資料提供の目的によるものを除き、本資料の情報は、部分的であっても当社の書面による事前の許可なく、いかなる形式または手段によっても使用、加工、配布、公表、送信または当該情報を用いた著述は認められないものとします。

【お問い合わせ先】

- 当社のサービスまたは本資料に関するお問い合わせにつきましては、下記までお電話ください。

本社営業部　03-3811-8160
大阪オフィス　06-6121-8560
10:00～17:00（土日祝日を除く）
e-mail: sales@emergency.co.jp